

スローガン：誰かのために 何かのために～ふるさとを愛し、より良い社会づくりに貢献する～

3月に4人の卒業生が巣立ち、令和4年度は全校生徒が5人となりました。今年度も、厚狭地域の小中高校共通のスローガン「誰かのために 何かのために」のもと、生徒一人ひとりが個性や適性を生かして、ふるさとを愛し、より良い社会づくりに貢献できる資質能力を身に付けられるように取組を続けていきます。定時制通信では、厚狭高校南校舎（定時制課程）での取組の様子をご紹介します。

## 1 学期始業式

### 大人として自分を高める

今年度から募集停止となり、新入生のない4月となりましたが、全校生徒5人で気持ちを新たに令和4年度がはじまりました。



始業式では大下康一郎校長が、民法改正による18歳成人制が施行されたことを踏まえ、「大人として一つひとつの言動に責任をもてるように心がけて学校生活を送ろう」と生徒に投げかけました。

今年度は『自ら考え、行動し、協働する人物の育成』を本校の教育活動推進方針として掲げ、「**大人が学ぶ学校づくり**」をすすめて参ります。

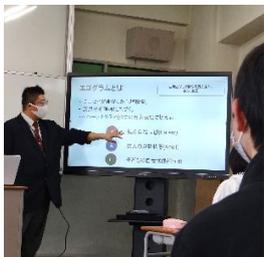
## 救命の手順を体験

### 1 学期防災避難訓練

火災を想定した避難訓練に続き、AED納入事業所から講師を招き、AED操作の実習体験をしました。初めての体験でしたが、「その場に出合わせたときに逃げずに役にたてる人物になりたい」と前向きな取組がみられました。



## SC 講話「エゴグラムを通して考える自分のこと、他人のこと」



本校の木元卓也スクールカウンセラー(SC)を講師として、人間関係づくりを学びました。今回は、心理検査を通して、性格の傾向や他者とよりよく関わるポイントについて自己分析しました。

### おめでとう

2年生の安部美咲さんが、昨年度の全国定通体育大会(卓球)出場を称え、山陽小野田市体育協会から優秀選手に選ばれ、賞状とメダルが贈られました。



## 生徒総会

### 令和4年度チャレンジ目標

#### 相手との立場・違いを考えた言動を心がけよう

生徒総会では、決算や予算の審議のほか、今年度のチャレンジ目標を審議しました。山中莉玖生徒会長から、相手の気持ちに立って行動することで、生徒どうしのつながりを強めたいと提案があり、「相手との立場・違いを考えた行動を心がける」ことに決まりました。



## 物見山公園を散策

### 春の交流会でウォークラリー

今年度最初の生徒会行事は交流会です。生徒みんなで学校を飛び出し、物見山公園で地図を片手にウォークラリーに挑戦しました。各チェックポイントにはあらかじめ問題が隠されており、生徒・教員一緒に知恵をしばって正解を探しながら親交を深めました。

毎回生徒どうしで工夫して企画をたてる交流会ですが、今回も春の夕暮れに笑顔があふれました。



## インターンシップ報告会

4年生が、3月の体験の成果を発表しました。働く意義や目的、社会人に必要な能力などに触れる内容で、2・3年生も真剣に耳を傾け、質問をしていました。ご協力いただいた事業所に心から感謝申し上げます。

### バケツでつくったお米が桜餅に!

家庭科では、昨年度バケツで栽培した稲から採れた米を使って、桜餅をつくる実習が行われました。栽培、脱穀、精米、調理に一貫して携わる貴重な体験になりました。

